

えっ!? 今年ってあと一か月しかないの?

炭田珈琲
 新聞 ⑤
 Vol.86
 2024.11.27(水)

季節はいつしか秋から冬へ。すっかり日が短くなり17時の挨拶も「こんばんは」になりました。例年この時期になるとツリーを飾り、店内をクリスマス仕様にします。暖かな光が「まっ」と灯るだけですが外が暗くても何だかほっとします。少し寂しい夕闇もイルミネーションの引き立て役に変わる。今だけのマジックですね☆
 一方で、ツリーが出ると恒例の、年内にやることリストの相脚しも忘れてはいけません。やりかけのこと、途中のあれこれ、発注するもの、新年の準備、大掃除、年末年始の予定をどうするか等々いつもギリギリになってしまうパターンを脱したい…。(←去年も同じことを言っています。がんばります) あっという間に過ぎていく2024年を無事に締めくくれるよう計画的に重かいたものです!

栗といちじくのケーキ



木がニックのドライ白いちじく入りの素朴なケーキの上に栗ペースたっぷりの生クリームを厚めに塗りました。ラム酒漬け特製マロンペースを散らしてリッチな味わい。仕上げに粉砂糖の雪を降らせたら…
 珈琲と個性抜群のケーキのぞきあがり!

先日店主とこんな会話をしました。「栗といちじく、あと1回で終わりにある?」「どうですか」「市場にいちじも出てきたし」「う〜ん。栗はやめるか。でもまあ引き合いがあるんだよね」材料がなくなりましたので先の相談をしているのです。結果、続投が決定しました。決め手は栗好きなお客さまの問い合わせやリクエストです!「考えてみると、モンブランを一年中作っているお店もあるし、まだ焼いていんじゃない?」と相成りました。仕込みの栗はあと10台分くらいでしょうか。もうしばらく秋の名残りにおつきあいください! 当日のケーキラインナップはSNS(インスタ、FB)でご紹介しています!

多くの方にご心配いただき、お氣にかけていただいていたヨメ母の引越し。夏からたびたびお助け部隊として会津へ出動していましたが、この11月末、自然に囲まれた集落から一山越えた城下町へと住まいを移すことができました。一人暮らしといえど7Kある古民家から2DKのコンパクトな家への引越しは、とにかく物の処分が大変でした。押し入れに眠る秘宝のごとく、人生の地層が凝縮された堆積物の数々と膨大な蔵書が二人分。思い出の詰まったそれらに向き合い、手放す勇気と思い切り。濃厚な数か月を乗り越え、雪が降る前になんとか新生活の目処が立ったことに安堵しています。この話だけで新聞か何号も出せそう…。皆さまのメールとお心遣いへ感謝です。本当にありがとございました!! 「2トラックじゃ入りませんね」を2セで収めてもらいました。

引越しの量は人数ではなく家の広さで決まるんですよ。
 2年袖を通していない服は一着着ません!
 持って行くのは「何かに使えそう」ではなく「何に使う」です

12月のスケジュール(前半)

年末年始はまだ確定していません! 寒いから決まり次第お気をつけてください。 〇〇〇
 どうぞよろしくお預りします
 <休業日(前半)> 一ヶ月 早いわ
 2(月)・3(火)・9(月)・16(月)